

# 総合調整会議（2016. 1. 6）

○日時：平成28年1月6日（水） 午前8時40分～午前9時15分

○場所：栗東市役所3階談話室

○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

## <会議内容>

### 1. 市長の指示事項

#### 市長からの指示

- ・今年度と来年度の事務が輻輳する時期となることから、年度末に向けて事務の遺漏がないよう適切に対応すること。
- ・総合戦略について、経済振興や子育てしやすい環境整備の他、特に「栗東ならではの」という取り組みを進めていきたい。地域資源としての「人」や「緑」、「歴史」、「文化」、「交通」、「栗東ブランド」などを活かし、「馬のまち」として組織横断的に全庁をあげた取り組みを考えている。具体的には、(仮称)ホースパーク構想として、「馬」を中心に「観光」、「福祉医療」、「就労」、「レジャー・スポーツ」、「教育」各分野にまたがる事業構想を「本市ならではの」の事業であり、私自身が先頭に立ち進めるので、組織横断的に一致協力して、積極的に取り組むこと。

### 2. 審議事項

#### 【案件名】事務権限の移譲の今後の進め方調査への回答について

→ 元気創造政策課長から説明

**区分：決定**

### 3. 報告事項

#### 【案件名】地方創生加速化交付金にかかる取り組み内容の照会について

→ 元気創造政策課長から説明

- ・平成27年度国の補正予算が閣議決定され地方創生加速化交付金が創設された。当交付金の概要や申請等にかかるスケジュール等を説明し、各部課において取り組み可能な事業等についての検討をお願いしたい。
- ・当交付金の概要について、予算額は1,000億円で補助率は100%であり、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として計上されたものである。
- ・地方版総合戦略に基づく各自治体の上乗せ交付金等での特徴的な取組事例を参考にして、先駆

性を高め、レベルアップの加速化を図るものである。

- ・事業の対象については、地域のしごと創生に重点を置きつつ、人の流れ、働き方改革、まちづくりに関する分野の事業が対象となる。
- ・特に重要となる部分は、先駆性において5つの要素があるなかで、官民協働、地域間連携、政策間連携のうち、2つ以上の要素を実施計画に明記する必要がある。
- ・交付申請にあたって、市区町村においては2事業までで申請額は4千万円から8千万円が目安となる。
- ・今年度の補正予算として計上していく必要があるので、短い期間での検討作業となるが、1月18日までに提案いただくよう、各部での検討をお願いしたい。

[政策推進部長]

- ・現在、当交付金へエントリーを予定している事業については、滋賀県と草津線沿線の市町で構成する、草津線複線化促進期成同盟会で、草津線沿線の魅力を活かした公共交通利用促進・地域活性化事業が検討されている。

**区分：了解**

### 3. 閉会

#### 副市長からの挨拶

- ・地方創生加速化交付金については、現在策定している総合戦略の内容を勘案し、各部で十分に検討し提案すること。
- ・年末年始休暇も終わり、再度、気を引き締めて、各部で事務に遺漏のないよう、適切に対応すること。

以上